

学校だより **彩雲燦燦**

令和4年10月31日
文責：校長 原 佳織



「ハレルヤ」の作曲家ヘンデル

私が中学3年のとき、合唱コンクールの自由曲として「ハレルヤ」（ヘンデル作曲）を歌いました。学校での授業、放課後の練習はもちろんのこと、休日にも友だちの家に行ってはパート練習（私自身はアルトパート）をするほど熱が入っていましたし、パート2名が集まれば、特に難しい部分を徹底的に何十回も何百回も練習しました。先生から教えてもらうというより、練習自体をみんなで楽しんでいるうえ、自分たちで創っているという満足感で嬉しい気持ちを感じていたように思います。私が通っていた中学校では最優秀賞のクラスが閉会式中のステージでもう一度歌うことになっていました。ですから、結果発表のときの「アンコール発表は・・・」このフレーズが「最優秀賞は・・・」と同じ意味なのです。その瞬間が来ました。クラス全員が目をぎゅっとなつむり祈って待ちます。「アンコール発表は・・・」私のクラスは呼ばれませんでしたが、学年全員が割れんばかりの大きな拍手をし、クラスのみならず、学年のみならずやり切ったという思いが大きくふくらみ、胸がじんとう温かくなったことを今でも覚えています。そして、その後に感じたすがすがしさと幸せ感は言葉ではいいから表せないものでした。4年に一度行われるクラスの同窓会では、今でも「ハレルヤ」をみんなで歌っています。

すてきな音楽、すてきな歌声が響き渡ったプラム・カルコアの大ホールでした♪

10月19日（水）プラム・カルコア太宰府で、「共鳴×郷明（きょうめい）」をスローガンとした第36回文化発表会を行いました。オープニングを飾ったのは吹奏楽の演奏。「YMCA」で会場は一気に盛り上がり、文化発表会の雰囲気をごくと押し上げ、合唱コンクールに大きな弾みをつけてくれました。美術部の力作である絵幕。絵幕にはスローガンの「共鳴」を「一滴の水から広がる波紋」で美しくそしてダイナミックに表現されていました。その絵幕をバックに各クラスが「自分たちだけの合唱」を披露しました。演奏した曲は右の通りです。1年生のはつらつとした歌声。2年生のぐっと深みのあるハーモニー。3年生の声と声がまさに共鳴していることが感じられる豊かな響き。圧巻は3年生の学年合唱。コロナで入学式さえできなかった3年生がたくさんを乗り越え、ようやく立てたプラム・カルコアのステージ。太宰府東中のみんなの心が満たされた一日となりました。



	1組	2組	3組
1年生	時を越えて	ぼくらの世界	COSMOS
2年生	旅立ちの時	時の旅人	心の中にきらめいて
3年生	春に	虹	Gifts
3学年合唱	群青		

太東の力を高めた第36期から第37期へバトンが手渡されました！

第36期生徒会をどう進めていこうか。たくさん悩んで、たくさん話し合っ考えたスローガンが「前進×全（ぜん）心（しん）～共にあゆめ太東ロード～」でした。一歩ずつでも前に進みたい、太東全員の心をついにしたいという強い思いのこもったスローガンのもと、力強く走り続けた第36期生徒会は、自分たちの力で太宰府東中の総合力を高めてくれました。心から感謝します。本当にありがとうございました。全力でがんばっていた姿を第37期生徒会は目に焼き付けています。ですから、志をしっかりと引き継ぎ、「太東全員で」「心一つに」さらに高みへと進むため、力を尽くしてくれることでしょう。太東がどんどん前進していこうと思うだけで、とても幸せな気持ちになります。

